



— 本紙イチオシの商品を紹介 —

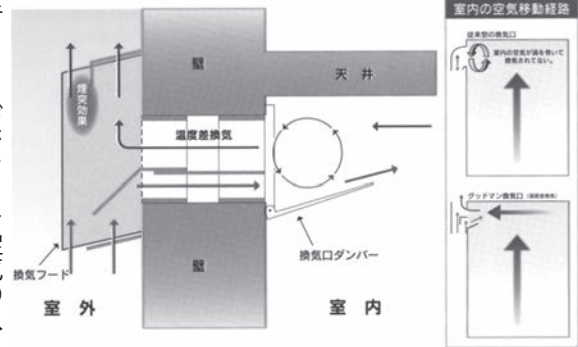
有限会社グッドマン
 ☎011-563-0744
 株式会社日浦
 ☎011-864-0177

商品正銘

「グッドマン換気口」

有限会社グッドマンが開発・製造、株式会社日浦が総販売元の「グッドマン換気口」は「煙突効果」といわれる空気の温度差を利用してパッシブ換気を行う優れた商品だ。換気口内部を上下に仕切り、外部のフードには上部に暖かい空気を排出する出口、下部に出た冷たい空気を吸気を行う入口を設け、動力を使わずに吸排気を同時に行う。また室内側に設置したダンパーの開閉角度で換気量を調節するとともに、吸気された外気と室内の空気がダンパー上部で混ざり合うため、冬期間には室内の温度が下がりにくく、換気口下の壁面を伝って外気の冷たい空気が下降するダウンクラフトを緩和する。同商品はその性能と個性が評価されて、平成二十四年に経済産業局省エネ大賞、同二十五年にエコプロダクツ奨励賞などを受賞している。

住宅の高気密・高断熱化が進み、それに伴い結露やカビの発生、臭いの問題などが顕著化した。こうした問題の解決と住宅分野での省エネルギー化が叫ばれる今、ランニングコストで十分な換



「グッドマン換気口」の仕組み

気を行うことができ、同商品は改めて注目される商品だ。築年数が経った戸建て住宅や賃貸住宅のリフォームなどで活用できるほか、換気が不足しがちな小屋根裏や賃貸物件の空き室管理でも効果を発揮する。また、マンションでは大規模修繕の際に全戸を「グッドマン換気口」に替える例も増えているほか、公共施設での導入例も多い。

シックハウス症候群の問題から平成十五年に改正された建築基準法では建築物の二十四時間機械換気が義務付けられたが、同社では新築の場合、吸気側に「グッドマン換気口」を利用し、排気を機械で行う第三種換気の二十四時間ハイブリッド換気システムを提案している。停電や長期不在など排気ファンが止まった状態でも「グッドマン換気口」だけで十分な空気の入れ替えを行う能力がある。

「グッドマン換気口」のシステムを考案し特許を取得した有限会社グッドマンの斎藤武夫社長は、大学教授らと研究を進めて学会などで論文を発表するとともに、当時北海道立総合研究機構建築総合研究本部北方建築総合研究所に在籍していた福島明氏（北海道科学大学工学部建築学科教授）からアドバイスを受けながら商品の改良に取り組み、同研究所との共同研究で同商品の自然換気効果が実証されている。

同商品は換気口の口径などによって三種類用意されており、税抜き価格は定価で一万五千八百円から、ハイブリッド換気システムは約四十坪の建物で十五万円前後が目安となる。詳しくは株式会社日浦まで問い合わせ。